

前回専門委員会での各委員からの意見等に対する修正点について

1. 答申案に係る対応等

前回委員会における指摘・意見等	対応
①紀の川について、ヤマメとアマゴが混在しているが、間違いではないか。	P. 10 「大滝ダムの上流付近の支流にイワナ、ヤマメの生息情報がある」を、 「大滝ダムの上流付近の支流にイワナ、アマゴの生息情報がある」に訂正。
②サツキマス類の「類」とは何か。サツキマス類の類は取った方がよい。 (藤井委員、谷田委員)	P. 14 サツキマス類の「類」を削除。
③魚の名前を並列にする場合、「・」は「、」にした方がよい。 (須藤委員)	該当箇所を修正。

2. その他の対応等

前回委員会における指摘・意見等	対応
①アユを類型指定の対象としていないのであれば、混乱を招くので対象としていないことを明記しておくべき。 (藤井委員)	参考資料 1、2 参照。
②P. 20 では、オイカワについて、「好適な水域であると想定された」と記載してあるが、前回資料 6 の P. 115 には「情報が得られなかった」と記載がある。整合を合わせるべきでは。 (土屋委員)	前回資料 6、P. 115 の記載を変更。 「情報が得られなかった」 →「産卵場所を特定できるヒアリング等による確認情報は得られなかった。」 参考資料 3 参照。
③前回資料 6 の図の色づかいが違う。 例えば P. 15、P. 61。 (谷田委員)	色づかいを統一。 参考資料 3 参照。